

長久手市行政評価票

事業番号	43	事業の名称	遊休農地活用事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	産業緑地課

事業の概要	要綱に基づく前熊堀越地区の農地の幹旋、「長久手給食食材生産会」の運営支援等を行うことで、新規就農及び既存農家の農地拡大の推進並びにあぐりん村や学校給食への出荷を促進し、遊休農地を減らしていく。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市:農地バンク制度 東郷町:農地バンク制度																
	事業期間	事業開始年度	平成20年度	終了(予定)年度		総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																						
A	現行どおり実施																					
B	事業の改善																					
C	他事業と統合																					
D	運営主体の見直し																					
E	事業の廃止の検討																					
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内農業者				総事業費	うち	一般財源															
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	前熊堀越地区を地産地消農産物の生産拠点とする。					国費・県費																
						地方債																
					その他																	
					受益者負担額	0	0	0	0	0												

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~															
①	市内農業者	要綱に基づき、遊休農地を幹旋することで				前熊堀越地区の遊休農地を増やし市内農産物の生産量を増加させる。	幹旋を受けた農家が地域の中心農家になり、独自に規模拡大している。	前熊堀越地区の遊休農地面積	32,483	28,128	m ²	前熊堀越地区の遊休農地の減少状況	0	0	0	0	0	A	現行どおり実施していく。幹旋対象区内の遊休農地が着実に減少している。	
②	市内農業者	学校給食への納入品目、数量等を決定する栽培会議を給食センターも交えて開催し、連絡調整を活発にすることで				学校給食への地元農産物の納入量を増やす。	農業者間の連絡調整の活発化	学校給食への納入実績	2,505	3,889	kg	これまでの納入実績の最大値(H22、8,393kg)	0	0	0	0	0	A	今後も、安心安全な市内産野菜の学校給食への納入を増やしていく。	
③	市内農業者	給食食材生産にN-GAP(安心・安全な農作物を生産するための工程管理手法)を導入することで				生産する農作物の質を向上させ、安心・安全な長久手産野菜を消費者にむけてアピールする。	N-GAP看板製作 N-GAPシールの作成	N-GAP認証圃場面積	50,374	50,374	m ²	前年度実績(50,374 m ²)	0	0	0	0	0	A	制作したN-GAPのロゴマーク等を活用して、看板・シールを作成。	
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要